

| 項番 | ページ | 行/箇所                   | 誤   | 正   | 修正刷 | 補足事項 |
|----|-----|------------------------|---|---|-----|------|
| 1  | 3   | 下から5                   | 現行の高等学校教科書『詳説世界史』に準拠しており、   | 高等学校教科書『世界史B』『詳説世界史』に準拠しており、  | 5→6 |      |
| 2  | 8   | 18                     | その後60万年前頃、より進化した旧人(ホモ=サピエンス Homo sapiens)とよばれる人類が、  | その後60万年前頃、より進化した旧人とよばれる人類が、   | 6→7 |      |
| 3  | 18  | 10                     | ペルシア湾南岸から地中海沿岸  | ペルシア湾北岸から地中海沿岸  | 5→6 |      |
| 4  | 22  | 14~15                  | 前1275年頃カデシュの戦いでヒッタイトと戦って  | 前1274年頃カデシュの戦いでヒッタイトと戦って  | 6→7 |      |
| 5  | 24  | コラム                    | フェニキア文字 <b>𐤎 𐤑 𐤓 𐤔 𐤕</b>  | フェニキア文字 <b>𐤎 𐤑 𐤓 𐤔 𐤕</b>  | 5→6 |      |
| 6  | 43  | 下から2                   | 翌403年には民主政が回復した。  | 翌前403年には民主政が回復した。   | 5→6 |      |
| 7  | 49  | 12~14                  | このうちギリシアとアナトリアの一部はアンティゴノス朝 Antigonos マケドニア(前276~前168)が支配したが、ギリシア本土では……新興都市同盟が勢力を伸ばしてこれに対抗した。またアナトリアからはのちにペルガモン王国が独立し、商工業と文化を発展させた。セレウコス朝 Seleukos シリア(前312~前64)は……縮小した。 | セレウコス朝 Seleukos シリア(前312~前64)は……縮小した。ギリシアとアナトリアの一部はアンティゴノス朝 Antigonos マケドニア(前276~前168)が支配したが、ギリシア本土では……新興都市同盟が勢力を伸ばしてこれに対抗した。アナトリアではのちにセレウコス朝から独立したペルガモン王国が、商工業と文化を発展させた。 | 5→6 |      |
| 8  | 70  | 14~15                  | 他方、北東モンスーンはベンガル湾から南インドの南東部に雨をもたらして北上するが、影響力は弱い。   | 他方、北東モンスーンはベンガル湾から南インドの南東部に雨をもたらすが、影響力は弱い。  | 5→6 |      |
| 9  | 74  | 5~6                    | 西北インドにまで進出したのである。王はインダス川流域を転戦し、多くの地域を征服したが、インドにまで侵入することはできなかった。   | 西北インドにまで進出したのである。王はインダス川流域を転戦し、多くの地域を征服したが、さらに東へ侵入することはできなかった。  | 5→6 |      |
| 10 | 80  | 下から6<br>下から5~4<br>下から4 | マレー = ポリネシア語族 Malay-Polynesian<br>タイ = カダイ語族 Thai-Kadai<br>オーストロアジア語族 Austroasiatic   | マラヨ = ポリネシア語族 Malayo-Polynesian<br>タイ = カダイ語族 Tai-Kadai<br>オーストロアジア語族 Austroasiatic   | 5→6 |      |
| 11 | 80  | 下から3                   | 三者を包括してシナ = チベット語族 Sino-Tibetan とよぶ。  | チベット = ビルマ語族とタイ = カダイ語族は、シナ = チベット語族 Sino-Tibetan に含まれる。  | 4→5 |      |
| 12 | 81  | 16<br>21               | シャム湾から南シナ海さらに中国へ<br>シャム湾と東シナ海を繋ぐメコン川下流域に  | タイ湾から南シナ海さらに中国へ<br>タイ湾と南シナ海を繋ぐメコン川下流域に  | 5→6 |      |
| 13 | 91  | 地図「春秋時代(前8~前5世紀)」      | 「穆王」「莊王」  | 「穆公」「莊王」  | 4→5 |      |
| 14 | 99  | 8                      | 天人相感説を唱えた。  | 天人相関説を唱えた。  | 5→6 |      |
| 15 | 101 | 地図「アメリカの古代文明とおもな遺跡」    | おもな遺跡「ポトシ」を削除   |   | 5→6 |      |
| 16 | 107 | 19                     | 小麦や米などの穀類や  | 小麦や粟などの穀類や  | 4→5 |      |
| 17 | 108 | 18                     | ソグド人の宮殿壁画には   | ソグド人の邸宅壁画には   | 4→5 |      |
| 18 | 110 | 12                     | それからわずか20年ほどで   | それからわずか10年ほどで   | 5→6 |      |
| 19 | 114 | 12~13                  | もう一つは、チベットをへてはいる陸のルートや、東南アジアや中国の南の海岸沿いにはいる海のルートであり、東晋の僧法顕(337頃~422頃)は行きは陸路を使い、帰りは海路を使ってグプタ朝のチャンドラグプタ2世を訪ね、その旅行記を『仏国記』に著した。  | もう一つは、東南アジアや中国の南の海岸沿いにはいる海のルートであり、東晋の僧法顕(337頃~422頃)は陸路で、グプタ朝のチャンドラグプタ2世時代のインドを訪ね、海路で中国に帰り、その旅行記を『仏国記』に著した。  | 5→6 |      |
| 20 | 118 | 19                     | アラル海以西のオアシス諸都市  | アラル海以东のオアシス諸都市  | 5→6 |      |
| 21 | 124 | 12                     | 王皇后を廃立して  | 王皇后を廃して   | 5→6 |      |
| 22 | 134 | 下から10~9                | イランのサッファール朝(867~903)  | イランのサッファール朝(867~1003)   | 5→6 |      |
| 23 | 136 | 2~4<br>9~10            | 東トルキスタンを支配していたカラハン朝は、10世紀半ばに集団でイスラーム教に改宗した。また、アラル海付近でも、10世紀後半に<br>このことは、それまでイラン系を中心としていたこの地の住民が、徐々にトルコ化していく原因となり、この地は西トルキスタンとよばれるようになった。                                | 10世紀半ばのタリム盆地西部では、カラハン朝勢力による集団改宗が起こった。また、アラル海付近でも、同世紀後半に<br>このことにより、それまでイラン系を中心としていたこの地の住民は徐々にトルコ化し、この地はトルコ人の居住地域を指すトルキスタン→p.195の一部(西トルキスタン)となっていく。                        | 5→6 |      |
| 24 | 149 | 11                     | カリフ・マームーン   | アッバース朝第7代カリフのマームーン  | 5→6 |      |
| 25 | 158 | 19                     | ノルマン人の移動とカロリング後の世界  | ノルマン人の移動とカロリング朝後期の世界  | 5→6 |      |
| 26 | 165 | 11~12                  | アラブ = イスラーム勢力、ビザンツ軍に対抗しうる軍事力  | イスラーム勢力、ビザンツ軍に対抗しうる軍事力  | 5→6 |      |
| 27 | 172 | 4~5                    | 聖ベルナルドゥス(1190~1153)   | 聖ベルナルドゥス(1090~1153)   | 5→6 |      |
| 28 | 178 | 17~19                  | 中立の立場の枢機卿は、1409年にピサ公会議を開催し、シスマを解決する最初の試みをおこなった。公会議は両教皇を廃位し、新しい教皇を選出したが、ウルバヌス5もクレメンヌも公会議の権威を認めることを拒否し、ヨーロッパには3人の教皇が鼎立した。   | 中立の立場の枢機卿は、1409年にピサ公会議を開催し、シスマを解決する最初の試みをおこなった。公会議はローマとアヴィニョンの両教皇を廃位し、新しい教皇を選出したが、両教皇とも公会議の権威を認めることを拒否し、ヨーロッパには3人の教皇が鼎立した。  | 6→7 |      |
| 29 | 181 | 3~4                    | フィリップは……1204年にノルマンディー・アンジューと他の所領をジョン王から没収した。  | フィリップは……1202年にノルマンディー・アンジューと他の所領をジョン王から没収した。  | 5→6 |      |
| 30 | 181 | 12~21                  | ヨーロッパ内部での最初の十字軍は、ドミニコ修道会によって担われた教皇の任務が端緒となった。ドミニコ修道会は聖ドミニコ Dominico(1170頃~1221)によって創設され、同会の修道士は教会の富を拒否し、施しを受け、説教をおこなった。教会は異端者に……自らの支配下においた。                             | ヨーロッパ内部での最初の十字軍は、フランスにおける教皇の任務が端緒となった。教会は異端者に……自らの支配下においた。異端の迫害はドミニコ修道会によって担われた。ドミニコ修道会は聖ドミニコ Dominico(1170頃~1221)によって創設され、1216年に公認された。同会の修道士は教会の富を拒否し、施しを受け、説教をおこなった。    | 5→6 |      |
| 31 | 181 | 下から3                   | ボルドー周辺のギエンヌ   | ボルドー周辺のギエンヌ   | 5→6 |      |
| 32 | 182 | 14~18                  | 導かれた16歳の農民の少女ジャンヌ = ダルク……戴冠に貢献した。しかし、パリ攻略に失敗した後、1431年にジャンヌはとらえられ、ルーアンで異端として処刑された。   | 導かれた17歳の農民の少女ジャンヌ = ダルク……聖別(戴冠)に貢献した。しかし、パリ攻略に失敗した後、1430年にジャンヌはとらえられ、31年にルーアンで異端として処刑された。   | 5→6 |      |
| 33 | 187 | 下から12~11               | ドイツ騎士団は、穀物・木材の輸入によって利益をあげ、  | ドイツ騎士団は、穀物・木材の輸出によって利益をあげ、  | 5→6 |      |
| 34 | 194 | 10                     | ゾロアスター教・キリスト教・マニ教・仏教など  | ゾロアスター教・キリスト教・マニ教など   | 4→5 |      |
| 35 | 194 | 下から7                   | いずれもトルコ語を表記する突厥文字やウイグル文字がつけられた。   | トルコ語を表記するウイグル文字がつけられた。  | 4→5 |      |
| 36 | 195 | 14                     | 東突厥は686年に   | 東突厥は682年に   | 6→7 |      |
| 37 | 196 | 17                     | イスラームの布教者がトルコ人の間に分け入って改宗を進めたからである。  | イスラームの布教者が遊牧トルコ人の間に分け入って改宗を進めたからである。  | 4→5 |      |
| 38 | 197 | 4                      | カラハン朝がイスラーム世界の西北部に成立した結果、   | カラハン朝がイスラーム世界の東北部に成立した結果、   | 4→5 |      |
| 39 | 205 | 13~15                  | 欽宗の弟が江南に逃れて臨安(杭州)を首都として帝位に就いた(高宗)。<br>南宋では、   | 欽宗の弟が江南に逃れて臨安(杭州)を首都として帝位に就き(高宗)、南宋を建てた。<br>南宋では、   | 5→6 |      |
| 40 | 211 | 8                      | キプチャク = ハン国もイスラームに改宗し、  | キプチャク = ハン国でもハンがイスラームに改宗し、  | 5→6 |      |



|    |     |                       |   |  |     |
|----|-----|-----------------------|---|--|-----|
| 41 | 216 | 下から4                  | 莫大な <b>戦利品</b> を有したモンゴルの王族や   | 莫大な <b>富</b> を有したモンゴルの王族や  | 4→5 |
| 42 | 228 | 10~11                 | 好況地帯を、北方の長城線から東南 <b>沿岸・東シナ海</b> にいたる中国の周辺部につくりだした。  | 好況地帯を、北方の長城線から東南 <b>沿海地域</b> にいたる中国の周辺部につくりだした。  | 5→6 |
| 43 | 238 | 12                    | また <b>広東十三行</b> (公行)という特定の商人  | また <b>広東十三行</b> (公行 <b>〈行商〉</b> )という特定の商人  | 5→6 |
| 44 | 242 | 11                    | ティムール朝期の文化は <b>おもに</b> サマルカンドとヘラートで、  | ティムール朝期の文化の <b>中心地</b> はサマルカンドとヘラートで、  | 4→5 |
| 45 | 251 | 図版「サンタ=マリア号」          |   | 切手の右上が1892年のものに差替え   | 6→7 |
| 46 | 266 | 3                     | マクシミリアン1世Maximilian I (位1493~ <b>98</b> )   | マクシミリアン1世Maximilian I (位1493~ <b>1519</b> )  | 5→6 |
| 47 | 280 | 下から9                  | 国民の数分の1程度にすぎない、   | 国民( <b>成人男性</b> )の数分の1程度にすぎない、   | 4→5 |
| 48 | 295 | 13~15                 | 今日ニュートンについては、……天体 <b>運動の観察から</b> 出発して万有引力の法則を唱え、  | 今日ニュートンについては、……天体の <b>観測結果に基づいて</b> 万有引力の法則を唱え、  | 5→6 |
| 49 | 296 | 9~10                  | 自然法とは人間の本性に基づく <b>不変の法</b> で、   | 自然法とは人間の本性に基づく <b>不変にして普遍の法</b> で、   | 5→6 |
| 50 | 313 | 4                     | ・ <b>革命の勃発</b> ・  | ・ <b>各身分の不満と不安</b> ・   | 5→6 |
|    | 314 | 7                     | ・ <b>社会構造の改革</b> ・  | ・ <b>革命の勃発と社会構造の改革</b> ・   |     |
| 51 | 317 | 1                     | 封建的 <b>諸特権</b> を無償で廃止する   | 封建 <b>地代</b> を無償で廃止する  | 5→6 |
| 52 | 318 | 下から4                  | 宗教協約(コンコルダートConcordat)  | 宗教協約(コンコルダートConcordat)   | 5→6 |
| 53 | 322 | 図版「ウィーン会議」キャプション      | 左から2人目がナポレオン1世、 <b>中央がメッテルニヒ</b> 、右から3人目がアレクサンドル1世、地図の下にいるのがタレーランである。                     | 左から2人目がナポレオン1世、右から3人目がアレクサンドル1世、地図の下にいるのがタレーランである。   | 5→6 |
| 54 | 326 | 下から10                 | 労働者の <b>利害</b>  | 労働者の <b>利益</b>   | 5→6 |
| 55 | 329 | 8                     | 一般 <b>労働法</b> (工場法, 1833)   | 一般 <b>工場法</b> (工場法, 1833)  | 5→6 |
| 56 | 330 | 下から5~4                | 民衆の代表者が労働条件について政府に <b>諮問</b> するための機関(リュクサンブール委員会)を設置するなど、年末に強行された <b>人民投票</b> で圧倒的な支持を得た。 | 民衆の代表者が労働条件について政府に <b>提言</b> するための機関(リュクサンブール委員会)を設置するなど、年末に強行された <b>国民投票</b> で圧倒的な支持を得た。          | 5→6 |
| 57 | 331 | 15                    | 1852年11月、帝政復活の是非を問う <b>人民投票</b> が実施   | 1852年11月、帝政復活の是非を問う <b>国民投票</b> が実施  | 5→6 |
| 58 | 333 | 下から18                 | ロシアは黒海の非武装化、両海峡の全軍艦通過禁止を受け入れ、   | ロシアは黒海の非武装化、 <b>ダーダネルス・ボスフォラス</b> 両海峡の全軍艦通過禁止を受け入れ、  | 5→6 |
| 59 | 338 | 13                    | 70年に <b>初の</b> 国民投票を実施して、   | 70年に国民投票を実施して、   | 5→6 |
| 60 | 343 | 下から8                  | ・ <b>ドイツ帝国の成立</b> とビスマルク外交・   | ・ <b>ドイツ帝国とビスマルク外交</b> ・   | 5→6 |
| 61 | 343 | 下から19~17              | 71年1月、……。翌年5月フランクフルト講和条約で   | 71年1月、……。5月フランクフルト講和条約で  | 5→6 |
| 62 | 345 | 3                     | <b>81年</b> にはイタリア・オーストリアと <b>三国同盟</b> を結び、  | <b>82年</b> にはイタリア・オーストリアと <b>三国同盟</b> を結び、   | 5→6 |
| 63 | 345 | 12~13                 | ウィーン会議後、スウェーデンは <b>ノルウェーをデンマークから割譲させ、正式に同君連合</b> とした。                                     | ウィーン会議でスウェーデンは <b>ノルウェーとの同君連合を正式に確認された。</b>  | 5→6 |
| 64 | 347 | 12~13                 | <b>1896年</b> にはフランスのクーベルタンが、古代オリンピックの復活をよびかけて、 <b>国際オリンピック大会に向けた委員会を立ち上げた。</b>            | <b>また、フランスのクーベルタンが、古代オリンピックの復活をよびかけて委員会を立ち上げ、1896年には国際オリンピック大会が始まった。</b>                           | 5→6 |
| 65 | 353 | 下から3                  | しかし、 <b>48年</b> のアメリカ=メキシコ戦争によってニューメキシコ、  | しかし、アメリカ=メキシコ戦争によって <b>48年</b> にニューメキシコ、   | 5→6 |
| 66 | 357 | 下から10                 | <b>19世紀</b> までのアンシャン=レジム期   | <b>18世紀</b> までのアンシャン=レジム期  | 5→6 |
| 67 | 359 | 図版「モネ「印章・日の出」」キャプション1 | <b>東</b> 印象主義・印象派の名称の由来となった画。   | 印象主義・印象派の名称の由来となった画。   | 4→5 |
| 68 | 360 | 12                    | 「 <b>最大多数者の最大幸福</b> 」   | 「 <b>最大多数の最大幸福</b> 」   | 5→6 |
| 69 | 361 | 下から13~12              | 電機・化学工業は、イギリスの <b>ファラデー</b> の電磁誘導の研究、ドイツのリービヒの有機化学の確立など <b>物理学の発見</b> と結びついて、             | 電機・化学工業は、イギリスの <b>ファラデー</b> の電磁誘導の研究、ドイツのリービヒの有機化学の確立など <b>物理学や化学の発見</b> と結びついて、                   | 5→6 |
| 70 | 362 | 7~8                   | リヴィングストンは伝道も兼ねて、 <b>ナイル川源流を探索・アフリカを横断踏査し、</b>   | リヴィングストンは伝道も兼ねて、 <b>アフリカ南部を横断・ナイル川源流を探索し、</b>  | 5→6 |
| 71 | 362 | 下から3~2                | <b>映画</b> などの新しい大衆娯楽施設や壮麗な建物のデパートの普及などは、  | <b>映画館</b> などの新しい大衆娯楽施設や壮麗な建物のデパートの普及などは、  | 5→6 |
| 72 | 364 | 13                    | まず、 <b>1783年</b> にはエカチェリーナ2世治下のロシアに大敗して黒海の北岸を奪われ、   | まず、 <b>1774年</b> にはエカチェリーナ2世治下のロシアに大敗して黒海の北岸を奪われ、  | 5→6 |
| 73 | 367 | 11~13                 | オスマン帝国は、……に敗北する一方、 <b>89年</b> にイギリスと軍事同盟を結んで第2次対仏大同盟に参加し                                  | オスマン帝国は、……に敗北した <b>後、ナポレオンのエジプト侵攻を受けると翌99年</b> にイギリスと軍事同盟を結んで第2次対仏大同盟に参加し                          | 5→6 |
| 74 | 373 | 20                    | ムガル帝国の重臣であったニザーム=アルムルク Nizām al-Mulk ( <b>1718~92</b> )は、……ハイデラバードを根拠にして独立した。             | ムガル帝国の重臣であったニザーム=アルムルク Nizām al-Mulk ( <b>アーサフ=ジャー Āṣaf Jah, 1671~1748</b> )は、……ハイデラバードを根拠にして独立した。 | 5→6 |
| 75 | 377 | 地図「東南アジアの植民地化」        | ミンダナオ島とスールー諸島のスペイン領の黄色の塗色をトル  |  | 4→5 |
| 76 | 377 | 地図「東南アジアの植民地化」        | フィリピン(ス) 1898以後( <b>米</b> )   | フィリピン(ス) 1898以後( <b>米領となり、ミンダナオ島とスールー諸島も20世紀に併合</b> )  | 4→5 |
| 77 | 379 | 10~12                 | マニラ大司教を中心に <b>4教区</b> が設けられ、その下の <b>教区</b> が町の統治単位とかさなった。 <b>教区</b> では、スペインの修道会より         | マニラ大司教を中心に <b>4司教区</b> が設けられ、その下の <b>小教区</b> が町の統治単位とかさなった。 <b>小教区</b> では、スペインの修道会より               | 5→6 |
| 78 | 379 | 15                    | 18世紀後半にスペイン人植民者、 <b>中国系メスティーソ</b> 、フィリピン人   | 18世紀後半にスペイン人植民者、 <b>中国系メスティーソ(フィリピン人と中国人との間の子孫)</b> 、フィリピン人  | 5→6 |
| 79 | 379 | 下から13                 | ベトナムでは、16世紀以降 <b>黎朝</b> の権力は名目的なものとなり、  | ベトナムでは、 <b>15世紀前半に明の遠征を退け成立した黎朝</b> は、16世紀以降 <b>その権力が名目的なもの</b> となり、                               | 4→5 |
| 80 | 379 | 下から1                  | 阮福瑛   | 阮福暎  | 5→6 |
|    | 380 | 2, 5                  |   |  |     |
| 81 | 380 | 15                    | メコンデルタ3省をフランスに割譲する第1次サイゴン条約   | メコンデルタ <b>東部</b> 3省をフランスに割譲する第1次サイゴン条約   | 5→6 |
| 82 | 383 | 22                    | 92年にイギリスはマカートニーMacartney(1737~1806)を中国に派遣、……。マカートニーは乾隆帝との謁見を許されたものの、                      | 92年にイギリスはマカートニーMacartney(1737~1806)を中国に派遣、……。93年9月にマカートニーは乾隆帝との謁見を許されたものの、                         | 5→6 |
| 83 | 385 | 12                    | 公行の <b>廃止</b>   | 公行( <b>行商</b> )の <b>廃止</b>   | 5→6 |
| 84 | 389 | 15                    | また、 <b>北洋</b> 武備学堂は近代的教育を受けた軍人を育成し、   | また、 <b>天津</b> 武備学堂は近代的教育を受けた軍人を育成し、  | 5→6 |
| 85 | 400 | 9~10                  | 自治領 dominion  | 自治領 Dominion   | 5→6 |
| 86 | 402 | 12                    | ドイツの <b>償金</b> 支払い  | ドイツの <b>賠償金</b> 支払い  | 5→6 |
| 87 | 402 | 下から1                  | 国内では <b>社会主義者</b> 鎮圧法の廃止、   | 国内では <b>社会主義者</b> 鎮圧法の廃止、  | 4→5 |
| 88 | 403 | 2~3                   | ドイツの工業は飛躍的發展を遂げ、20世紀初頭には <b>鉄・鉄鋼</b> 生産でイギリスを追い抜き、  | ドイツの工業は飛躍的發展を遂げ、20世紀初頭には <b>鉄鋼</b> 生産でイギリスを追い抜き、   | 5→6 |
| 89 | 405 | 13~14                 | オーストリアとハンガリーの国内ではそれぞれ <b>オーストリア</b> とハンガリー人が支配層を形成していたが、                                  | オーストリアとハンガリーの国内ではそれぞれ <b>ドイツ人</b> とハンガリー人が支配層を形成していたが、   | 5→6 |
| 90 | 405 | 25                    | 南欧・バルカン方面に限定され、 <b>1887年</b> ボスニア=ヘルツェゴヴィナの占領を  | 南欧・バルカン方面に限定され、 <b>1878年</b> ボスニア=ヘルツェゴヴィナの占領を   | 4→5 |
| 91 | 406 | 下から6                  | モロッコ問題では <b>アルヘシラス会議</b> を主催してドイツの動きを牽制し、   | モロッコ問題では <b>フランスの立場を支持して</b> ドイツの動きを牽制し、   | 5→6 |

|     |     |                 |  |  |     |  |
|-----|-----|-----------------|--|--|-----|--|
| 92  | 410 | 6~8             | セシル＝ローズらは、95年に武力侵攻を企てたが失敗した。その後、 <b>アフリカでの係争問題が解決すると</b> 、イギリスは再びトランスヴァールに圧力をかけ、99年開戦に持ち込むと。   | セシル＝ローズらは、95年に武力侵攻を企てたが失敗した。その後、 <b>ファショダの緊張が解決すると</b> 、イギリスは再びトランスヴァールに圧力をかけ、99年開戦に持ち込むと。   | 5→6 |  |
| 93  | 410 | 18~20           | 太平洋諸地域は、赤道の <b>北部</b> に位置するマイクロネシア、赤道に <b>かかる</b> ニューギニアなどを含むメラネシア、太平洋の <b>西側に</b> 赤道をはさんでハワイ諸島、タヒチ島・トンガ諸島などがある広い海域にわたるポリネシア                                       | 太平洋諸地域は、 <b>おもに赤道以北</b> に位置するマイクロネシア、赤道 <b>以南の</b> ニューギニアなどを含むメラネシア、 <b>それらの東側に</b> 赤道をはさんでハワイ諸島、タヒチ島・トンガ諸島などがある広い海域にわたるポリネシア  | 5→6 |  |
| 94  | 411 | 下から6            | 合衆国は、1879年以来、 <b>パン＝アメリカ会議</b> を招集して、  | 合衆国は、1889年以来、 <b>パン＝アメリカ会議</b> を招集して、  | 5→6 |  |
| 95  | 412 | 5               | <b>プランターの利害</b>  | <b>プランターの利益</b>  | 5→6 |  |
| 96  | 417 | 7~9             | 1899年に毓賢は転任し、……。袁世凱に押し出されるかたちで義和団は北京・天津方面に移動、4月には義和団が北京にはいった。  | 1899年に毓賢は転任し、……。袁世凱に押し出されるかたちで義和団は北京・天津方面に移動、 <b>1900年</b> 4月には義和団が北京にはいった。  | 5→6 |  |
| 97  | 418 | 下から10~7         | 1907年には日仏協約でそれぞれフランスのインドシナ、日本の関東州・韓国の利権を認めた。また、ロシアは東アジアへのこれ以上の進出を断念してバルカン方面への進出を強めるとともに、同年6月の日露協約で相互の勢力圏を画定した。同年、英露協商も結ばれ、   | 1907年 <b>6月</b> には日仏協約でそれぞれフランスのインドシナ、日本の関東州・韓国の利権を認めた。また、ロシアは東アジアへのこれ以上の進出を断念してバルカン方面への進出を強めるとともに、同年 <b>6月</b> の日露協約で相互の勢力圏を画定した。同年 <b>8月</b> 、英露協商も結ばれ、  | 5→6 |  |
| 98  | 442 | 下から7            | <b>オーストリア＝ハンガリー・ブルガリア</b>  | <b>オーストリア・ハンガリー・ブルガリア</b>  | 5→6 |  |
| 99  | 449 | 28              | 国営のままで残った大規模 <b>工業</b>   | 国営のままで残った大規模 <b>工場</b>   | 5→6 |  |
| 100 | 458 | 3               | 国民 <b>政府軍</b> の将校や兵士たち   | 国民 <b>革命軍</b> の将校や兵士たち   | 5→6 |  |
| 101 | 462 | 22              | 34年に <b>独立準備法</b> が成立し、  | 34年に <b>フィリピン独立法</b> が成立し、   | 5→6 |  |
| 102 | 463 | 下から4            | 参政権を <b>与えたこと</b> 、  | 参政権を <b>認めたこと</b> 、  | 4→5 |  |
| 103 | 465 | 3               | 戦後のパリ講和 <b>条約</b> にエジプトの代表団(ワフド)を送って   | 戦後のパリ講和 <b>会議</b> にエジプトの代表団(ワフド)を送って   | 5→6 |  |
| 104 | 470 | 19~20           | 日本政府は関東軍のこの行動を阻止できずに追認し、さらに <b>陸軍は32年には列強の目をそらすために上海でも軍事衝突を引き起こした(上海事変)</b> 。  | 日本政府は関東軍のこの行動を阻止できずに追認した。さらに、 <b>上海でも日中間の緊張が高まり、32年には日中両軍が衝突した(上海事変)</b> 。   | 6→7 |  |
| 105 | 475 | 下から3~1          | 6月英独海軍協定に帰結した。協定はドイツに <b>イギリスの海軍水上艦艇の35%まで</b> を保有すること、またこの比率内でイギリスと同量の潜水艦を保有できることを認めていた。  | 6月英独海軍協定に帰結した。協定はドイツに海軍艦艇は <b>イギリスの総トン数の35%まで</b> を保有することを認め、また潜水艦はイギリスの総トン数の <b>45%まで</b> とすることを定めた。  | 5→6 |  |
| 106 | 480 | 2~3             | ヒトラーはポーランド侵攻 <b>作戦</b> を指示した。  | ヒトラーは <b>9月1日</b> 、ポーランド侵攻を命じた( <b>第二次世界大戦</b> )。  | 5→6 |  |
| 107 | 481 | 下から12           | 一方、ソ連はバルト諸国援助条約を結ばせて軍を駐屯させ、  | 一方、ソ連はバルト諸国に援助条約を結ばせて軍を駐屯させ、   | 5→6 |  |
| 108 | 488 | 下から16           | 東京をはじめ主要都市を <b>焦土</b> と化した。  | 東京をはじめ主要都市は <b>焦土</b> と化した。  | 5→6 |  |
| 109 | 498 | 2~3             | 1955年、……。西ドイツは、ドイツ西側の占領当事国である米・英・仏とパリ協定を結び、念願の主権回復を実現した。   | 1954年、……。西ドイツは、ドイツ西側の占領当事国である米・英・仏とパリ協定を結び、 <b>翌年</b> 、念願の主権回復を実現した。   | 5→6 |  |
| 110 | 501 | 6               | <b>レザー＝ハーン</b>   | <b>レザー＝シャー</b>   | 4→5 |  |
| 111 | 502 | 9               | として記憶している。<br>外からの強圧によって生存権を奪われ、   | として記憶している。<br><b>エジプトでは1952年ナセルらの青年将校が王政を倒し(エジプト革命)、アスワン＝ハイダム建設などの近代化に着手した。ついでナセル大統領がスエズ運河を国有化すると、英仏・イスラエルとのスエズ戦争(第2次中東戦争、1956~57)が生じたが、これを乗り越えたナセルはアラブ民族主義の指導者となった。しかし、パレスチナの解放を「アラブの大義」として戦った第3次中東戦争(1967)の大敗で彼の権威は揺らいだ。</b><br>外からの強圧によって生存権を奪われ、 | 4→5 |  |
| 112 | 504 | 下から4            | 「豊かな社会化」   | 「豊かな社会」化   | 5→6 |  |
|     | 505 | 4               |  |  |     |  |
| 113 | 506 | 地図「西ヨーロッパの地域統合」 | イギリス<br>マケドニア  | イギリス(→2020年離脱)<br>北マケドニア   | 5→6 |  |
| 114 | 507 | 7, 8            | <b>改訂</b>  | <b>改定</b>  | 5→6 |  |
| 115 | 508 | 22              | 89年の <b>解放</b> までに約3000人の逮捕者、  | 89年の <b>開放</b> までに約3000人の逮捕者、  | 5→6 |  |
| 116 | 509 | 27~30           | 65年に開催される予定であった <b>第2回非同盟諸国首脳会議</b> は、……。その後開かれることはなかった。   | 65年に開催される予定であった <b>第2回アジア＝アフリカ会議</b> は、……。その後開かれることはなかった。  | 5→6 |  |
| 117 | 512 | 18              | <b>利害</b>  | <b>利益</b>  | 5→6 |  |
| 118 | 521 | 下から11~9         | 1960年代末になると、……。ヨーロッパ経済共同体(EEC)や日本の <b>台頭による貿易赤字の拡大の結果</b> 、71年には1世紀近く続いた貿易収支の黒字が赤字に転換し、  | 1960年代末になると、……。 <b>台頭してきた</b> ヨーロッパ経済共同体(EEC)や日本 <b>に対する貿易赤字が拡大した結果</b> 、71年には1世紀近く続いた貿易収支の黒字が赤字に転換し、  | 5→6 |  |
| 119 | 527 | 下から17           | <b>ハヴェルVáclav</b>  | <b>ハヴェルHavel</b>   | 5→6 |  |
| 120 | 532 | 1               | トランプ Trump(任2017~)   | トランプ Trump(任2017~ <b>21</b> )  | 6→7 |  |
| 121 | 539 | 下から20~14        | <b>ボスニア</b> では、独立をめぐる <b>ボシュニャク人</b> とよばれる……。94年に <b>ボスニアを2分割するボスニア＝ヘルツェゴヴィナ連邦</b> が発足した。しかし、セルビア人勢力がそれを拒否したことから、混乱は続いた。95年にNATO軍が軍事的な圧力を加え、同年にようやく合意が成立して内戦は終息した。 | <b>ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ</b> では、独立をめぐる <b>ボシュニャク人</b> とよばれる……。94年に <b>ボシュニャク人とクロアチア人によるボスニア＝ヘルツェゴヴィナ連邦</b> が発足した。しかし、セルビア人勢力( <b>スルブスカ共和国</b> )がそれを拒否したことから、混乱は続いた。95年にNATO軍が軍事的な圧力を加え、同年にようやく合意が成立して <b>連邦国家となり内戦は終息した</b> 。                                | 5→6 |  |
| 122 | 545 | 11              | ホーラーニー、アルバート(湯川武監訳・阿久津正和編訳)『アラブの人々の歴史』第三書館 2003  | ホーラーニー、アルバート(湯川武監訳・阿久津正幸編訳)『アラブの人々の歴史』第三書館 2003  | 4→5 |  |
| 123 | 511 | 索引              | アゴラ 37<br>アザンクールの戦い 182  | アゴラ 37<br>アーサフ＝ジャー→ニザーム＝アルムルク 373<br>アザンクールの戦い 182   | 5→6 |  |
| 124 | 557 | 索引              | 阮福瑛 379, 380   | 阮福映 380  | 5→6 |  |
| 125 | 560 | 索引              | シュリーヴィンジャヤ(室利仏逝) 83, 84, 124   | シュリーヴィンジャヤ(室利仏逝) 83, 84, 123   | 4→5 |  |
| 126 | 566 | 索引              | ニザーム＝アルムルク 137, 373<br>ニザーム＝ジェディード 367   | ニザーム＝アルムルク 137<br>ニザーム＝アルムルク(アーサフ＝ジャー) 373<br>ニザーム＝ジェディード 367  | 5→6 |  |
| 127 | 568 | 索引              | ピニョー 379   | ピニョー 380   | 4→5 |  |